

平成21年度 再評価委員会

路線名：主要地方道 唐津北波多線
(重河内工区)

事業名：道路改良事業

(着手より10年経過のため再評価)

主要地方道 唐津北波多線 位置図

玄海原子力
発電所

玄海町
役場

(主) 唐津北波多線

唐津
市役所

竹木場小学校
唐津第四中学校

北波多IC
(仮称)

至 鷹島
←


至 福岡市
→

至 伊万里市街
↓

至 佐賀市
↘



事業目的



幅員狭小のため
車両交通に支障



歩道未整備で
通学者が危険



バイパス(歩道含む)整備により



交通の円滑化、通学者の安全性確保

事業概要

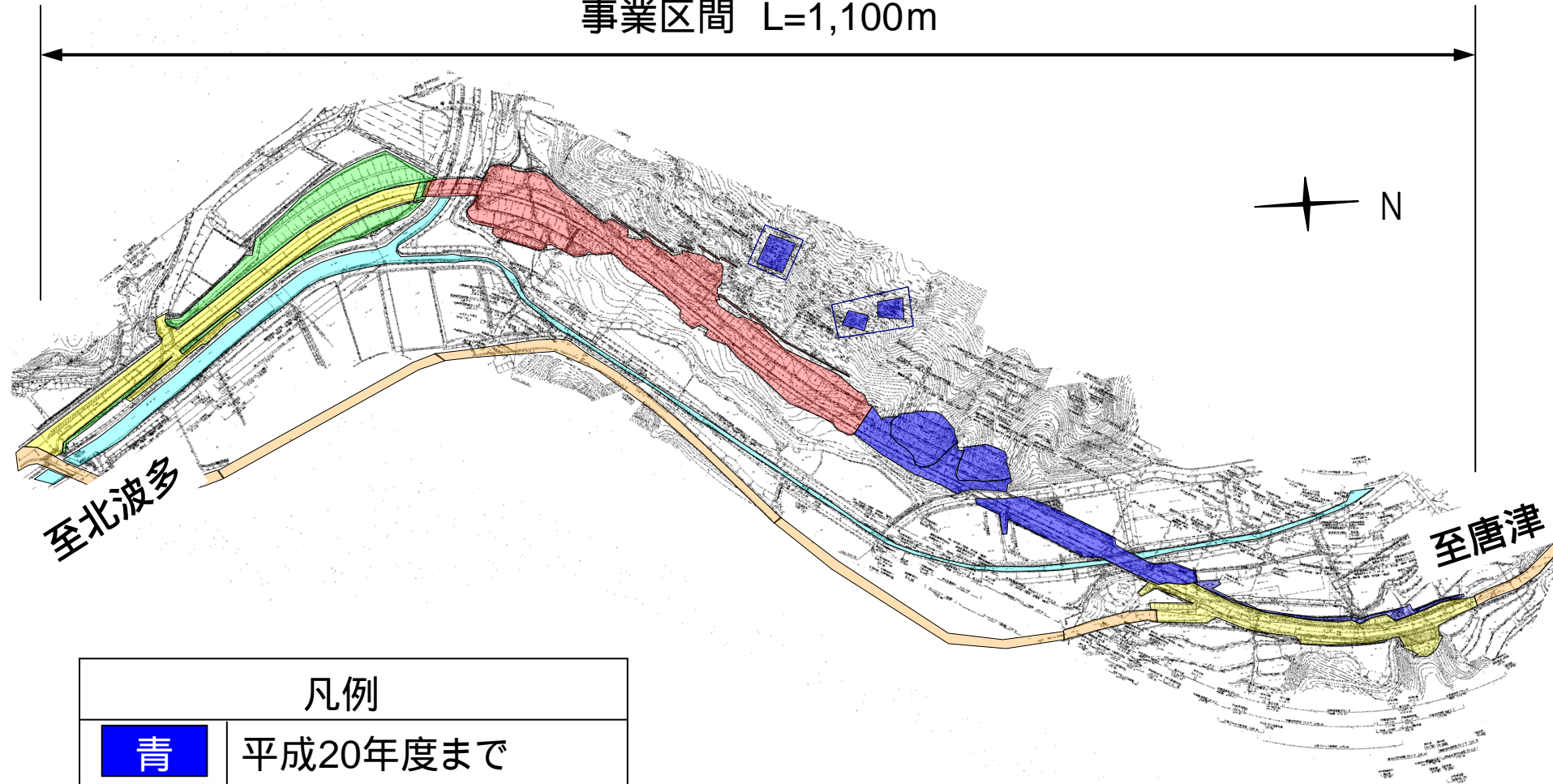
- 全体事業費：9.2億円
- 工期：平成12年度～平成24年度(予定)
- 全体延長：L = 1,100m
- 事業内容：改良工 L = 1,100m
用地買収 24,700m²

事業の進捗状況

	平成20年度まで	平成21年度	平成22年度以降
事業費(億円)	5.7	2.0	1.5
進捗率(%)	62.0	83.7	100.0
用地進捗率(%)	100.0	100.0	100.0

主要地方道 唐津北波多線 平面図

事業区間 L=1,100m



凡例

青	平成20年度まで
赤	平成21年度施工箇所
黄	次年度施工箇所

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の増加

H9 2,042台 / 日 (基準)

H11 2,291台 / 日 (1.12)

H17 3,201台 / 日 (1.57)

- 鷹島肥前大橋が平成21年4月に開通したことなど、観光にも資する道路であり、更に、西九州自動車道の北波多ICが平成23年度に供用されるなど、交通量の増大が予想される。

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比 (B / C)} = 16.5 / 9.5 = 1.7$$

- 【便益】

走行時間短縮便益	=	14.8億円
走行経費縮小便益	=	1.7億円
交通事故減少便益	=	0.0億円
合計		16.5億円

- 【費用】

事業費	=	8.9億円
維持管理費	=	0.6億円
合計		9.5億円

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。